

住宅の設計、という仕事に私は誇りを持っています。日々勉強、修行の毎日です。責任も重大、作業も膨大ですが、この仕事が好きでなりません。

なぜこんなに好きなのだろう。今回のzuiun便りを書くのを機会に、少し考えてみました。

住宅は人生最大の買い物とはよく言ったもので、まさにほんどの方にとっては、長い人生の中で一番の高額出費になる事でしょう。

住宅に纏わる商品や情報も、世の中に溢れています。そんな中でよく雑誌や広告で目にする「理想の家」や「理想の家事動線」と言うワードですが、その雑誌や広告の図面や写真を見ると、確かに良いと思うものです。

しかし、住宅に求める要求としては同じ言葉でも、その理想や動線の考え方は、万人に共通するものではないはず。そして、限られた面積や敷地条件、環境、予算等、その住宅を取り巻く回りの条件に左右され、一棟一棟その「理想」の形は姿を変えて存在します。

住宅を設計するときは、出来る限り様々な方向から考え、答えを導きますが、それはたとえばデザインを重視するあまり、使い悪くなってしまうたり、コストが掛かり過ぎてしまったり、または逆に使いやすさが見た目が好みでない、安かろう悪かろうにならないようにするため。

ただし、一般的にセオリーで無い事でも、お施主様がそのメリット・デメリットを踏まえてGOを下されば、その家は住まい手にとって理想の家になるのです。そして、それによりお施主様に満足してもらえた時、私共設計側にとってもその家は正に理想の家になるのです。他の誰でもなく、その方のためのお家なのでから。

日々思う事がありますが、一棟完成した時に出会えるお施主様の笑顔や、良いねの一言が、どれだけ私共を勇気づけ、幸せにしてくれているか、きつとお施主様はご存知ありません。お

zuiun便り vol.38

住宅設計。

お客様の幸せのお手伝いをしたいと言いながら、幸せを頂いているのは、私共設計側です。

zuiunの住宅は一棟一棟フルオーダーです。決して安価な方では無いかもしれませんが、しかし、だからこそ一棟一棟住まい手の個性を形にすることが出来ます。住まい手の個性とは、デザイン性はもちろん、家の使い方、ライフスタイルにまで遡ると、言葉で表す間取り(3LDK等)は同じでも、全く違う形におさまりますし、コストのかけどころも個性が出ますね。

例えば、ご主人はどんな動線で朝玄関を出るのか、帰って来た時はどうか、休日は…。

奥様はどういった手際で家事をこなすのか、どういう水廻りにしたら使いやすいのか。はたまたご夫婦で分担されるのか。

身支度はどこで、家事の仕方、育児の仕方、くつろぐ時間、場所、趣味もそのご家庭それぞれ、動線によってスイッチの場所も決まってきます。

こういった事柄を何度も頭でシミュレーションし、一年以上かけて一棟をお施主様と一緒に考えて作り込んでいくと、いざ完成、お引渡の瞬間にはやはり感慨深い物があります。「きつとここからは、このお家をお施主様らしく住みこなし、ご家族の歴史を刻んで行かれるんだろうな。」なんて想像してウルツときたり。つくづく自分はなんて幸せな仕事をしているんだろうと感じます。そして数ヶ月後、数年後にアフター等でお邪魔した際に、実際に生活されている状況を拝見したり、赤ちゃんだったお子様が少し頼もしくなっていたりと、お引き渡しの後もつくづく私共の楽しみです。こんな機会を頂けている事を、これまでのお施主様に感謝致します。

住宅設計Ⅱ幸せを貰うこと

ですね。